

和歌山県立紀央館高等学校 学校運営協議会

令和 5年度 第3回【 11月 2日(木)】

出席者：委員7名、傍聴人2名

日程

- ①紀央館高校文化祭（紀央祭）の見学
- ②CLT(地域研修期間)作品の審査
- ③協議
 - ・生徒の様子について
 - ・今後の学校のあり方について

意見・感想など

- ・活気があり、挨拶がしっかり出来ている。生徒が皆、生き生きとしている。企画的には、少し前に比べて変わりつつあると感じた。
- ・クラスや生徒間で取組への温度差がみられた。入口付近で受付をやっている生徒から教室にいる生徒もいた。展示ブースに机を置き、当番制にして教室を空にしない形が必要ではないか。説明や会話もなく、意欲が感じられなかった。もっと自分のクラスに責任をもって運営してもらいたい。
- ・模擬店は、自分たちが楽しむためだけにやっている感じがした。内向きの文化祭になっている。もっと来場者にアピールできるよう工夫が必要。
- ・CLTの展示、同じテーマでもそれぞれのまとめ方に工夫が感じられた。自分の視点でまとめられているので面白い。3日間、有効に職業体験ができ、成長が見られた。

まとめ（会議で出された意見と今後の対応について）

文化祭について、中庭でバザーが出来れば、教室からも見る事ができるし、写真映えするのでは。教室だけでなく、ゲーム大会やトランプ大会なども企画すれば面白いかもしれないという提言をいただいた。校舎の奥の方が寂しかったという意見もあった。個々の企画を活かしながら、全体的なつながりがあるような内容や配置に工夫をしたい。CLTについては、調べるだけでなく自ら体験した内容のものや、自分の将来の仕事のことなどを考えている目的意識の高いものが評価された。学年を追うごとに内容を充実させた活動となるよう指導をしてほしいとの要望をいただいた。